



目次 2面 地域医療を支える医師 3面 県からのお知らせ ほか 4面 吹き竹・なるほどとちぎ ほか

編集・発行 栃木県広報課 平成31(2019)年3月3日発行 〒320-8501 宇都宮市瑞田1-1-20 ☎028-623-2192 FAX 028-623-2160 栃木県のホームページ http://www.pref.tochigi.lg.jp/ 毎月第1日曜発行(次回は4/7発行)

“チームとちぎ”で 国体へ!

2022年、栃木県で第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」、第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が開催されます。本県での開催は、昭和55年の第35回「栃の葉国体」以来、42年ぶり。県ではこの国体に向けて、大会で活躍が期待される選手の育成やスポーツ環境の整備など、「競技力向上」に積極的に取り組んでいます。



昨年8月に行われた「チームとちぎジュニア選手」認定式

“競技力向上”に向けて

「いちご一会とちぎ国体」において、本県が天皇杯(男女総合第一位)、皇后杯(女子総合第一位)の獲得を目指すとともに、とちぎ国体終了後も安定した高い競技力を維持していくためには、栃木県独自の選手育成強化を進めることが必要です。そこで県では、四つの柱を基本に「競技力」の向上に取り組んでいます。

1 組織体制の整備・拡充

- 「競技力向上対策本部」の設置
●競技団体の運営体制や指導體制の充実 など

2 選手の発掘・育成・強化

- 「とちぎ未来アスリートプロジェクト」の実施
●「チームとちぎジュニア選手」の認定
●成年選手の育成・強化・確保
●女性アスリートの強化支援 など

3 指導者の養成・資質の向上

- 「チームとちぎ強化指定コーチ」の認定
●トップレベルの指導者の招へい
●「国体選手指導者講習会」の開催 など

4 競技力向上のための環境整備

- 選手に対するスポーツ医・科学サポート
●競技環境・練習環境の改善
●SNSを活用した競技力向上事業の発信 など

チームとちぎジュニア選手にインタビュー

県では、将来国体での活躍が期待される小・中学生を「チームとちぎジュニア選手」として認定しています。今回はその中から、県内外で活躍しているお二人の選手をご紹介します。

松田 弥咲妃さん

大田原市立野崎中学校2年 種目 アルペンスキー

昨年6月、「ウィスラーカップ2018」(ジュニア世代世界最高峰とされる国際大会)で初優勝。那須塩原市のクラブチーム「ハンターマウンテンジュニア」所属

両親の勧めで、3歳でスキーを始めた松田さん。その魅力は、競技ならではのスピード感だと言います。「競技の時は一人で滑るので、思い切りスピードが出せます。自分の限界に挑戦して、良いタイムが出せた時は楽しい」と話してくれました。



普段の練習は土日が中心。平日の放課後は宿題などをして、勉強との両立も頑張っています。「思うように滑れず落ち込むこともあるけれど、そんなときは、友達と励まし合ったり、音楽を聴いたり、大好きな犬に癒やしてもらったりしています」。気分転換をすることが、「また頑張ろう」と思える秘訣だそうです。

国体に向けての意気込み

雪が多くて練習環境が整っている他県の選手たちに負けないよう、一つ一つの練習を大切にしていきたいです。表彰台を目指して頑張ります!



競技力向上について一言(栃木県スキー連盟 山口昌利強化部長)

ジュニア世代に目線を合わせ、全体で育成・強化を行うことで、レベルアップにつながっていると思います。また、「チームとちぎジュニア選手」に認定されたことで、個人個人が「自分たちが中心となってやろう」という意識が高まり、良い刺激となっています。

千野 虹さん

小山市立小山第三中学校2年 種目 ウエイトリフティング

昨年8月、「第17回全国女子中学生ウエイトリフティング選手権大会」58キロ級で優勝。小山市のクラブチーム「Tochigi Enjoy Lifters」所属



競技を始めたきっかけは、ウエイトリフティングの選手だったお父さん。体験会に誘われたことで興味を持ち、自身も競技に取り組むようになりました。「自己新記録を狙って、思い通りの記録やそれ以上の記録を出せた時が一番楽しい」という千野さん。ウエイトリフティングといえば、バーベルを持ち上げる迫力あるシーンが有名ですが、普段は筋力や体幹のトレーニングなど、地道な練習も多いとのこと。憧れの選手は八木かなえさんで、小柄な体格にも関わらず重い重量を持ち上げられるパワフルさが、日々の練習の目標になっているそうです。

国体に向けての意気込み

「チームとちぎジュニア選手」に選ばれて、これからは国体に向けて頑張ろうと思いました。地元開催のとちぎ国体で上位を狙っていきたいです!



競技力向上について一言(Tochigi Enjoy Lifters 会沢豊監督)

県外の試合や合宿への参加など、「競技力向上」の取り組みを通じて、全国大会での入賞者数も増えました。成果は着実にできていると思います。このクラブで直接指導できるのは中学生までですが、とちぎ国体では監督やコーチなどの立場で、同じ「チームとちぎ」として戦っていきたいです。

いちご一会とちぎ国体

いちご一会とちぎ大会

最新情報はとちぎ国体公式ホームページや各種SNSで発信中! 2022とちぎ国体 検索 県国体準備室 028-623-3522

イメージソング・ダンスが完成!

両大会の開会式などで歌われるイメージソングと、それに合わせて踊るダンスが完成しました。とちぎ国体公式ホームページに歌詞やダンスの動画を掲載していますので、ぜひご覧ください。



歌唱者はサトウヒロコさん



みんなで歌って 踊って二つの大会を盛り上げる まる~!

冬季大会開催も決定!

2022年のとちぎ国体本大会に先立ち、同年1~2月に行われる冬季大会も、本県で開催することが決定しました。スケートとアイスホッケーの2競技が行われます。本県での冬季大会開催は8年ぶりで、本大会と併せて行われるのは初めてとなります。